

しい あずまにていね

手稲中央・手稲鉄北・
稲穂金山・星置

『協議体』って
(生活支援推進連絡会)
なんだろう？



地域の「支え合いづくり」について、話し合う場のことです。

メンバー構成は、町内会、民生委員・児童委員、老人クラブ、NPO法人、地域包括支援センター、介護予防センター、地域企業などになります。

例えば、介護保険制度ではヘルパーさんに頼むことができない「電球の交換」や「仏壇の掃除」など、日常生活の困りごとを地域の中で、解決する方法について、話し合いをすすめていきます。



手稲中央地区で協議体を開催しました！



7月10日(水)、手稲コミュニティセンターにて、協議体を開催しました。

手稲山に近い地理的特徴から、これまでも、特に買い物についての困りごとが多く聞かれたため、関係機関の皆様と意見交換を行いました。

「宅配サービスを利用しているけれど、やはり自分の目で見て品物を選びたいのでは?」、「高齢者ドライバーによる事故のニュースを見て、免許の返還を考えたが、買い物に行けなくなるのも困る」などの意見が挙がり、「地区

内の高齢者を対象に、買い物を中心としたアンケート調査を実施」することになりました。

また、担い手不足を解消するため、「学生や子育て中のお母さんなど、様々な世代の方に加わってもらいたい」といった意見もあり、「地区内での担い手・ボランティア養成講座を開催」することになりました。

これからも、手稲中央地区では『支え合い体制づくり』に向けて、話し合いを重ねていきます。

こんなふうに、地域で支え合う仕組みづくりを目指していきます。
地域を回って歩いている生活支援推進員に、皆さんのお声を聞かせてください。

*高齢者の暮らしに役立つ情報を掲載しています。下記のように検索してください。



せいかつし えんすいしんいん 生活支援推進員

みてあるき 見て歩記

生活支援体制整備事業（地域の支え合いの仕組みづくり）を進めるために、地域で暮らす皆さんの、日常生活で『気になること・困っている事』・『こんな風になりたい』という事を尋ねて歩き、『支え合い』のお手伝いをするのが生活支援推進員です。



稲穂金山地区福まちサロン 【 9月11日（水）金山会館 】

今回は稲穂金山地区を訪問しました。

歴史的に、稲穂地域は泥炭地の多い手稲区でも、稲が育つ土地であった「耕す人」のまち、金山地域も手稲鉾山で多くの人助け合って働いてきた「掘り起こす人」のまちで、働き者が多いまちです。

誰もができる事をして助け合う地域性は、福まちサロンの雰囲気にも現れていました。



▲輪投げの様子。投げる人の輪の行方を見つめて、声をかけあいます。



▲指体操の様子。考えと指の動きが一致せず、思わず大笑いでした。

今回は、「脳活」をテーマに、輪投げ・言葉遊び・指体操・運動を行いました。活動を通じて、計算する、探す、読み上げる、考えながら身体を動かすという、脳活につながる工夫が凝らされていました。

常に誰かが話したり、声をかけたり、動いたり、笑ったりする、元気になれる集いの場でした。次回を楽しみにしている様子が印象的でした。

地域の方から聞いた困りごと

- 坂道が多いので電動自転車を使用しているが、充電が切れたら重くて、動かすのが大変。
- 免許証返還後、暮らし方が変わってくると思う。買い物や外出方法を思案中。

担当職員より

11月には地区で餅つき大会が予定されています。参加者みんなで行うパワーでおいしいお餅がつきあがりそうですね。次回は「手稲中央地区」をご紹介します。



社会福祉法人 札幌市手稲区社会福祉協議会

住所 札幌市手稲区前田1条11丁目 手稲区民センター1階

電話 (011)681-2644 FAX (011)684-8560

手稲区社協ホームページ <http://www.sapporo-shakyo.or.jp/teine>